

中央環境審議会水環境・土壌農薬部会（第17回）

議事要旨

■審議方法：書面審議

■議 題：水環境制度小委員会の設置について

■参加委員：古米部会長、浅見委員、大塚委員、中川委員、浅利委員、大久保委員、小川委員、木坂委員、小池委員、小林委員、肴倉委員、鈴木委員、大東委員、田中委員、東海委員、中島委員、奈良委員、西嶋委員、日野委員、古矢委員、松井委員、松本委員、三浦委員、皆川委員

■審議結果：6月4日に各委員に開催通知を送付し、電子メールにて24名の委員より回答を得た。6月24日に回答結果を部会長にご報告し、同日に水環境制度小委員会を設置とする旨了承を得た。

■議事概要：下記のとおり。

中央環境審議会水環境・土壌農薬部会（第 17 回）議事概要
（議題：水環境制度小委員会の設置について）

■ 回答結果

了承する : 24 名

了承しない : 0 名

■ 個別にいただいた御意見及びその対応

御意見	対応
[小池委員] ご提示いただいている通り、水環境の課題は多様であり、一律の管理ではなく物質および地域の特性や特定の要因などを考慮した丁寧な対応が求められると思います。関連する小委員会との連携も図りながら検討を進めていただければと思います。	水環境制度小委員会の議論の内容によっては、関連する小委員会に報告し、必要な連携が図られるよう努めていきます。
[小林委員] 地下水と土壌とは関連性が強いと、地下水に関する制度の審議においては、必要に応じて、土壌制度小委員会と連携した審議をお願い致します。	
[田中委員] ウェルビーイングの向上と地域活性化を実現する取組、水質管理のみならず生物多様性の保全や地域づくりに資する総合的な水環境管理を目指すための取組等を実施の枠組みを検討する小委員会を作ることは必要である。検討にあたり、従来からある生活環境小委員会が関係する生活環境基準項目、水生生物基準や水浴基準などの水質面も関与するため、小委員会間の連携を密に図ることが望ましいと考える。	

御意見	対応
[浅見委員] 時宜を得た内容だと思います。基本的な水環境の改善は進んできたと思いますが、微量化学物質、飲用地下水、生態系の保全、災害対応など全体に関する検討は大変重要と存じます。	ご指摘の点も念頭におき、今後の水環境に関する制度の在り方について議論していきます。
[東海委員] 水環境に関する課題は多様化しており、地域に応じた柔軟で包括的な管理が求められていると思います。このために、生物多様性や気候変動への対応も視野に入れつつも、水環境に関する最新の科学的知見を反映させながら制度の在り方を検討する小委員会の設置は重要と考えます。	
[大東委員] 環境保全上の支障の防止及び良好な環境の創出に向けた今後の水環境に関する制度の在り方について調査、審議することは、今後の我が国の環境行政にとって重要であると思います。	